

## 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	生活支援サービスの充実
<b>現状と課題</b>	
<p>高齢者人口の増加と生産年齢人口の減少、また、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など在宅生活を継続するために、支援を必要とする高齢者については、今までの介護保険サービスに加えて、新たな支援体制が必要となっている。</p> <p>本市における要支援1・2の方のサービス利用状況は、専門職以外でも提供できる生活援助のみの利用者が多い。今後の生活支援は、民間事業者等によって提供されているサービスを購入する方法や、地域の互助によって提供される支え合い活動も検討していく必要がある。</p> <p>また、既存の地域資源だけでは対応できない生活支援ニーズに対しては、新たに支援の仕組みやサービスを生み出す必要があり、関係者による継続的な検討により整備を図る必要がある。</p>	
<b>第7期における具体的な取組</b>	
<p>○地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）と協議体による一体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人などの多様な事業主体による生活支援サービスの提供体制の構築を進めます。</li><li>・地域の支えあいの機運醸成を図ります。</li><li>・高齢者の担い手の育成に取り組みます。</li></ul>	
<b>目標（事業内容、指標等）</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・NPOやボランティア、地縁組織等の活動を支援し、地域のニーズに合った多様な生活支援のサービスを充実させることにより、高齢者の在宅生活の継続を支援する。</li><li>・互助による生活支援サービスの提供を通じて、地域の支え合い活動を促進する。</li></ul>	
<b>目標の評価方法</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 時点<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/>中間見直しあり</li><li><input type="checkbox"/>実績評価のみ</li></ul></li><li>● 評価の方法<p>要支援1・2の方を中心とした高齢者の日常生活における課題（困りごと）について、対応する支援（自助・互助）の整備状況を地域包括支援センターと連携し、地域支え合い推進員の活動等により把握</p></li></ul>	